

豊中市と空港で結ぶ友好都市提携に関する協定を締結

2月17日（金）、大阪国際空港ターミナルビル「星の間」で、大阪府豊中市と「空港で結ぶ友好都市提携に関する協定」を締結しました。

豊中市は、空港の活性化策の一環で、大阪国際空港から直行便のある国内就航先都市との相互交流と連携を呼びかけており、これまで、2市（島根県出雲市、鹿児島県奄美市）、2町（島根県隠岐の島町、鹿児島県和泊町）とスポーツや文化交流などで相互協力を深めるための協定を締結しています。

昨年11月に、航空路線を活かしたまちづくりの推進を目的とした友好都市提携について、豊中市から提案を受け、大分空港の利用促進や地域経済の活性化を図るために、今回の締結となりました。今後、関係機関と具体的な項目について検討を行いながら、豊中市との交流を深め、文化交流や観光振興など、地域と空港のさらなる活性化につなげていく予定です。

空港で結ぶ友好都市提携に関する協定締結式



（左から）三河市長、浅利敬一郎 豊中市長

★ 吉木コミュニティセンターが完成しました ★



財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による助成を受けて、国東町吉木区コミュニティセンターが完成しました。

吉木区コミュニティセンターは、木造瓦葺平屋建てで、集会室、小会議室、調理実習室等が整っており、今後、地区民のコミュニティ活動の拠点として活用されます。



国東市ケーブルテレビ制作番組

「国東につぼん酒をつくる会」が特選を受賞 県広報コンクールで5年連続

平成23年度大分県広報コンクール「映像の部」で国東市ケーブルテレビセンターの制作した作品「国東につぼん酒をつくる会」が最優秀の特選を受賞しました。

作品は、日本酒を自分たちの手で一から作り、地域の絆を深めたいと発足した「国東につぼん酒をつくる会」（参一如会長）の活動を紹介したもの。会員の皆さんが、田植えから稲刈り、酒の仕込みなどの作業に取り組み、オリジナルの日本酒に仕上げるまでの姿を伝えました。

2月9日（木）、県庁で行われた表彰式では「時間をかけて丁寧に取材し、多くの方に参加してもらっており、地域の協力・絆を感じる作品に仕上がっている」と評価を受けました。

今後も国東市ケーブルテレビでは、地域に根ざした魅力ある番組作りを心がけ、市民の皆さんに喜ばれるサービスを行っていきます。

